どのようにして人とつながるか（３つの真実より）

2010/03/14(日)　　ブログ掲載

３つの真実　野口嘉則　著書より

早朝気功、そして気功療法に来られ、経営者であり、かつ空手道場を開いている方から、
１冊の本をいただきました。

読んでみて本当に驚きました。以前、早朝気功、気功療法に来られています詩吟の先生
からも本をいただきましたが、たいへんありがたく感謝しております。

驚いたことに、いただいた本は、私が常々考えていることが、うまくまとめられています。
私が子どもの頃から感じていたことについてです。

本日は、人とのつながりについて、著書＆私の考えを織り交ぜながら、ブログに綴ります。

著書の内容を少しアレンジしています。

『周りの人からどう評価されるかによって、機嫌がよくなったり、腹を立てたり、劣等感を
感じたり・・・。つまり、人からの評価に依存しているということです。

人に認められるということを目指すということは、周りの人間の価値観に振り回される
こと。実際、お金や実績やステイタスで人を判断する人が多い。

今の世の中、目に見える結果を出した者が、人からの評価を得るようになっています。
残念なことに、子どもたちでさえも、目に見える結果で評価されてしまうケースが多い。

成績や学歴などの、目に見える結果で評価されている。成績のいい子や、いい学校に
入った子は、親からも教師からも評価される。画一的な評価に振り回されて、自分らしさ
を見失い、自分を愛せなくなっています。

大人も子どもも、周りからの評価されるために、目に見える結果ばかりを追い求める、
そして自分らしさを埋没させてしまっています。

自分らしさなんて目に見えないし、それを大切にしたところで、誰から評価されるわけ
でもないです。

目に見える結果によって人から認められようとする限り、比較の世界にはまり込んで
しまいます。比較の世界では、自分の相対的な価値は上がったり下がったりします。

人と出会っても、相手の業績や財産を自分のそれと比べ、相手が上だと思うと劣等感を
感じて卑屈になり、相手が下だと思うと見下して優越感にひたるのです。

人間は皆、つながりを求めています。重要なことは、どのようにして人とつながろうと
するかです。多くの方は、つながりを求めながら、真のつながりを得ることができて
いません。

あいたた・いたわり治療
かくりん健身練

成功しているときは人とのつながりもあったけど、事業で失敗したことで、人とのつながりも失ってしまうということです。多くの方は、結果に対して集まっていただけではないでしょうか。

本当につながっていたのなら、失敗してピンチに陥ったときこそ、力になろうとするのではないでしょうか。』

この本には、人間の魂、体とのつながりなど、私が考えていたことが、うまくまとめられています。私たちは、生きているというより、生かされているということです。

気功療法についても、来られた方を何とかしてやりたいと心から思った瞬間、気が流れだします。

この世の中の出会いは、偶然ではないと思っていますし、８０年の人生の中で出会うことは必ず縁があるはずです。

一人でも多くの方と心からつながるようにしてはどうでしょうか。思いやる気持ちが大切です。

見える結果上の成績が良くても悪くても、存在していることの奇跡を感じてください。価値のない者は一人もいないと思います。

私の気功療法は、病気の改善を目的としているだけでなく、気という目に見えないもので病気が改善していく現象をつうじて、世の中は目に見えるものだけでできているのではないことを知らせたいというのもあります。